

令和6年能登半島地震災害における活動報告

令和6年1月1日に石川県能登地方にて発生した地震災害について、日本赤十字社では発災当日より様々な災害救護活動を行っております。

日赤大分県支部においても1月に※救護班2班を派遣し、2月以降も必要に応じて救護班を派遣する予定となっております。(1月31日現在)

※救護班…医師や看護師、連絡調整員といったメンバーからなるチームのこと。主に避難所での救護所の設置や診療などを行います。

日本赤十字社全国の主な活動状況 [1月15日10時00分 現在]

職員・ボランティア派遣	救援物資の配布
 救護班 (DMAT含む) 延べ 92班 を派遣  日赤災害医療コーディネーターチーム 延べ 28班 を派遣  支部支援要員 延べ 20人 を派遣  赤十字ボランティア 延べ 257人 を派遣	 毛布 15,805枚  安眠セット 4,996セット  緊急セット 2,241セット  その他 携帯型簡易トイレ 3,400個 等



避難所で診療にあたる大分県のスタッフ



避難者に薬の説明をする薬剤師



日赤石川県支部での情報収集

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 災害義援金の受付について ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日本赤十字社では、令和6年能登半島地震災害による義援金を受け付けております。皆さま方からお寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。皆様方からの温かいご支援のほど、お願いいたします。

協力方法 (1月31日現在)

- | | |
|---|--|
| <p>1. ゆうちょ銀行・郵便局
 受付期間: 2024年1月5日(金)から2024年12月27日(金)まで
 口座記号番号 00150-7-325411
 口座加入者名 日赤令和6年能登半島地震災害義援金
 <small>※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券が、受領証の代わりとして、税制上の措置が受けられます。
 ※受領証をご希望の場合は、振替用紙の通信欄に「受領証希望」と明記のうえ、ご依頼欄に「お名前・ご住所・お電話番号」を記載してください。</small></p> | <p>2. その他
 銀行振込や、日赤大分県支部、各市町村窓口での受付も行っております。
 <small>詳しくはホームページをご覧ください。</small></p> |
|---|--|



困っている人の力になりたい! NHK海外たすけあい街頭募金を実施

毎年12月1日～25日は「NHK海外たすけあいキャンペーン」として、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人々を支援する募金キャンペーンを行っています。

このキャンペーンが始まる12月1日に合わせて、大分県支部では大分駅前にて街頭募金を実施しました。

街頭募金には3つの幼稚園やこども園、また赤十字のボランティアも参加し、多くの方からご協力をいただきました。

街頭募金終了後、園児たちはNHK大分放送局へ移動し、「困っている人のために使ってください」「大切に使ってください」という言葉と共に園で集めた募金を大分放送局長へ手渡しました。



シンガポール赤十字社より高校生が来県 ～青少年赤十字国際交流事業～

令和5年11月18日(土)～22日(水)にかけて、日赤大分県支部にて青少年赤十字国際交流事業を5年振りに行いました。

この活動は※青少年赤十字メンバーが「国際理解・親善」を促進することを目的に行われる全国的な取り組みで、大分県ではシンガポール赤十字社より2名の高校生が来県し、学生やボランティアなどとの交流を深めました。

※青少年赤十字…幼児から高校生まで、他人を思いやる赤十字の心を育む活動です。

・大分空港到着後、青年赤十字奉仕団員、支部職員と一緒に竹田市で開催された竹楽を視察



- ・車いすマラソンを視察後、県内の高校生メンバーと一緒にたこ焼きパーティー
- ・夜はホームステイ先でホストファミリーとの楽しい時間を過ごしました



- ・日赤大分県支部にて、赤十字のボランティアと日本ならではのお茶の体験や、日本の伝統的な遊びを体験



- ・佐伯市立直川中学校を訪問し、互いの文化の紹介やレクリエーションを通して交流



- ・県内の赤十字施設を見学
- ・別府市内の観光も行いました



日赤ゆかりの皇族お手植えの松の伐採について

大分市高砂町の国道197号沿い(ホテル日航大分オアシスタワー南側)に見える松の木は、大正11年に日本赤十字社の総裁であった閑院宮載仁(かんいんのみやことひと)親王殿下が、旧大分県支部庁舎を訪れた際にお手植えされたものと伝えられています。

支部庁舎は昭和49年に現在の大分市千代町に移転しましたが、この松は日赤ゆかりの松として、これまで100年以上に亘り、地域の方々や赤十字関係者を見守るシンボルとして愛されてきたところです。

しかしながら、令和5年11月に枯れの兆候が確認され、専門家である樹木医の診断を受けたところ、マツ材線虫病(俗称マツクイムシ)罹病による枯死と診断されました。

この病気に対する治療法はなく、歩行者・通行車両等への倒木被害とマツ材線虫病の被害拡大を防ぐためには、誠に残念ではありますが、伐採せざるを得ない状況となりましたので、お知らせいたします。

なお、伐採は、国道を管理する大分土木事務所が令和6年3月中旬頃に行う予定ですので、伐採前に日赤ゆかりの松の姿をご覧くださいと幸いです。

